



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8029 URL <https://www.look-holdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 齊藤 正明 (TEL) 03-6439-1701  
 四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	13,939	△0.1	932	△21.2	1,010	△23.9	668	△23.3
2023年12月期第1四半期	13,954	6.8	1,183	10.4	1,327	10.7	871	3.7

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 2,701百万円(142.4%) 2023年12月期第1四半期 1,114百万円(△39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 90.44	円 銭 —
2023年12月期第1四半期	118.53	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年12月期第1四半期	百万円 60,444	百万円 36,511	% 60.4
2023年12月期	56,858	34,423	60.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 36,511百万円 2023年12月期 34,423百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 80.00	円 銭 80.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,200	0.5	1,200	△13.0	1,500	△17.1	1,000	△13.3	135.31
通期	57,000	2.7	3,400	10.8	3,600	0.6	2,500	1.7	338.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	7,755,313株	2023年12月期	7,755,313株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	360,619株	2023年12月期	364,783株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	7,392,195株	2023年12月期 1 Q	7,355,595株

(注) 当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」及び「従業員向け株式給付信託 (J-ESOP)」を導入しており、期末自己株式数には当該信託に残存する自社の株式を含めております。また、当該信託に残存する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善する中、個人消費に足踏みが見られるものの景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、全般的な物価の上昇に加え、地政学的リスクの長期化や欧米各国の金融引き締めによる世界経済の後退が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、生活防衛意識の更なる高まりによる個人消費の減速が懸念されるものの、円安を背景としたインバウンド需要が拡大するなど、総じて回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、2024年を初年度とする中期経営計画（2024年～2028年）を策定し、「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に着手し、安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略に取り組んでおります。安定した事業基盤の構築として、主力ブランドの新規出店やブランド価値向上を目的としたイベントの実施にも注力してまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は139億3千9百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は9億3千2百万円(前年同期比21.2%減)、経常利益は10億1千万円(前年同期比23.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千8百万円(前年同期比23.3%減)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

#### (アパレル関連事業)

「日本」につきましては、主要インポートブランドにおける価格改定を前にした前期末の駆け込み需要の反動もあり、年初は厳しいスタートとなりました。その中で、主力ブランドである「A.P.C.」や「マリメッコ」において新規出店を推し進め、「マリメッコ」においては、ブランドを象徴するウニッコ柄誕生60周年にあたり、日本初のランウェイショーを開催するなど、ブランド価値向上に取り組むとともに、日本限定商品を発売したこともあり、店頭での販売が好調に推移いたしました。「A.P.C.」においては、インバウンド需要を継続的に取り込むことができた結果、売上高が堅調に推移いたしました。EC事業においても、「マリメッコ」のウニッコ柄60周年記念商品を販売するなどの施策により売上高が拡大いたしました。しかしながら、3月の気温が例年より低かった影響によりアパレルブランドの春物販売に苦戦したほか、専門店からの受注減により卸売販売が減少した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は65億7千8百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は6億1千7百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

「韓国」につきましては、韓国経済において輸出の回復に伴い景気不振の緩和傾向は見られるものの、依然として消費動向は低調な推移となっております。株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおきましては、例年に比べ、3月の気温が上がり春物販売に苦戦するなど百貨店インショップの売上高は減少しましたが、アウトレットでのセール販売や自社ECサイトでの売上高は堅調に推移いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は69億1千3百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は4億3千8百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

「欧州」につきましては、主にイタリアの直営店が、アジアからの観光客の増加などにより順調に推移いたしました。一方、主力の卸売事業においては、地政学リスクが長期化している中東地域や欧州域内の受注額が大きく減少した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億2千6百万円(前年同期比39.8%減)、営業損失は9千8百万円(前年同期は1億6百万円の営業利益)となりました。

「その他海外」(米国)につきましては、米国において「イル ビゾンテ」の小売事業、卸売事業いずれも堅調に推移いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9千3百万円(前年同期比14.7%増)、営業損失は1千万円(前年同期は2千万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は143億1千2百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は9億4千6百万円(前年同期比27.6%減)となりました。

#### (生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ内の売上高が減少した一方、外部受注が増加した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億3千3百万円(前年同期比1.8%増)となりましたが、製造費用等が増加した結果、営業利益は3千1百万円(前年同期比23.5%減)となりました。

## (物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内への売上高が減少した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億6百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は2千3百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品が12億3千7百万円、投資有価証券が16億1千4百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ35億8千5百万円増加し、604億4千4百万円となりました。

負債は、借入金が12億1千2百万円減少しましたが、15億円の社債を発行したことに加えて、支払手形及び買掛金が6億2千9百万円、繰延税金負債が5億9千8百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ14億9千7百万円増加し、239億3千2百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が10億2千8百万円、為替換算調整勘定が7億7千9百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ20億8千7百万円増加し、365億1千1百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は60.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、概ね計画の範囲内で推移しているものと判断し、2024年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、2024年12月期の第2四半期連結累計期間の業績予想に対する当第1四半期連結累計期間の実績の進捗状況は以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期業績予想 (A)	27,200	1,200	1,500	1,000	135.31
第1四半期実績 (B)	13,939	932	1,010	668	90.44
進捗率 (%) (B) / (A)	51.2	77.7	67.4	66.8	66.8

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,323	7,421
受取手形及び売掛金	6,150	6,239
商品及び製品	11,710	12,947
仕掛品	1,312	872
原材料及び貯蔵品	470	472
その他	1,014	983
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	27,932	28,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,227	2,310
土地	608	620
その他（純額）	1,005	1,091
有形固定資産合計	3,840	4,023
無形固定資産		
マーケティング関連資産	11,736	12,077
のれん	3,400	3,477
その他	1,079	1,125
無形固定資産合計	16,216	16,679
投資その他の資産		
投資有価証券	3,976	5,591
退職給付に係る資産	779	1,090
繰延税金資産	1,638	1,697
敷金	2,157	2,138
その他	452	440
貸倒引当金	△136	△135
投資その他の資産合計	8,868	10,823
固定資産合計	28,925	31,526
繰延資産		
社債発行費	—	30
繰延資産合計	—	30
資産合計	56,858	60,444

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,360	2,990
短期借入金	3,030	2,224
1年内返済予定の長期借入金	1,636	1,641
未払金	50	176
未払費用	2,254	2,106
未払法人税等	661	749
未払消費税等	396	217
賞与引当金	167	340
ポイント引当金	9	7
資産除去債務	69	85
その他	529	403
流動負債合計	11,165	10,943
固定負債		
社債	—	1,500
長期借入金	6,243	5,830
繰延税金負債	3,834	4,433
退職給付に係る負債	289	299
株式給付引当金	47	53
資産除去債務	231	208
その他	621	663
固定負債合計	11,268	12,988
負債合計	22,434	23,932
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,422	6,422
資本剰余金	1,691	1,691
利益剰余金	21,332	21,381
自己株式	△647	△641
株主資本合計	28,798	28,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,343	2,372
繰延ヘッジ損益	△5	6
為替換算調整勘定	3,970	4,749
退職給付に係る調整累計額	317	529
その他の包括利益累計額合計	5,625	7,658
純資産合計	34,423	36,511
負債純資産合計	56,858	60,444

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	13,954	13,939
売上原価	5,551	5,680
売上総利益	8,403	8,258
販売費及び一般管理費	7,219	7,326
営業利益	1,183	932
営業外収益		
受取利息	15	19
受取配当金	2	4
為替差益	114	46
その他	43	50
営業外収益合計	176	120
営業外費用		
支払利息	20	19
固定資産除却損	0	3
その他	11	19
営業外費用合計	32	41
経常利益	1,327	1,010
特別利益		
関係会社貸倒引当金戻入額	52	—
資産除去債務戻入益	1	—
その他	3	—
特別利益合計	57	—
特別損失		
関係会社株式評価損	52	—
減損損失	—	0
特別損失合計	52	0
税金等調整前四半期純利益	1,332	1,009
法人税等	460	341
四半期純利益	871	668
親会社株主に帰属する四半期純利益	871	668



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	871	668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	1,028
繰延ヘッジ損益	20	12
為替換算調整勘定	38	779
退職給付に係る調整額	81	212
その他の包括利益合計	242	2,032
四半期包括利益	1,114	2,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,114	2,701

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	6,628	6,586	513	81	13,809	137	2	5	13,954	—	13,954
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	19	693	—	714	582	310	0	1,607	△1,607	—
計	6,630	6,605	1,206	81	14,524	720	312	5	15,562	△1,607	13,954
セグメント利益 又は損失(△)	753	467	106	△20	1,307	41	23	△9	1,363	△179	1,183

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△155百万円、セグメント間の取引に関わる調整額485百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△509百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	米国	合計
6,773	6,586	513	81	13,954

(注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	6,571	6,866	202	93	13,733	203	2	—	13,939	—	13,939
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	46	524	—	579	529	303	—	1,412	△1,412	—
計	6,578	6,913	726	93	14,312	733	306	—	15,352	△1,412	13,939
セグメント利益 又は損失(△)	617	438	△98	△10	946	31	23	—	1,001	△69	932

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△174百万円、セグメント間の取引に関わる調整額587百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△482百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## [関連情報]

## 地域ごとの情報

## 売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	欧州	米国	合計
6,777	6,866	202	93	13,939

(注) 欧州に属する主な国または地域: イタリア、フランス